

令和3年度「生協ふれあいの森」植樹祭

6月20日（日）「第20回生協ふれあいの森植樹祭」と題して、青森県生活協同組合連合会主催による植樹イベントが開催されました。昨年は、コロナ感染症拡大により中止で、2年ぶりの開催となりスタッフを含めて31名と署長をはじめ職員6名が参加しました。

当日はあいにくの曇り空のもと、最初に、十和田市奥瀬字谷地国有林119林班内ふれあいの森協定箇所において、当署職員の指導の下、ブナの苗木80本を植樹しました。

参加者は、親子連れや夫婦、職場の同僚、大学生などが集まり、林内にある笹の根や慣れない鋤を使い、悪戦苦闘しながら植樹を行いました。

続いて、若手職員が中心となり、林内散策を兼ねたゲームの「フィールドビンゴ」を行いました。参加者が各班に分かれ、お互い声を掛け合いながら林内を歩き回り、植物を観察したり、クロモジの木の香りをかいだり、イタヤカエデの葉についた虫の卵を観察したりと皆さん思い思いに自然とのふれあいを楽しんでいました。



【 記念写真 】



【 植樹方法の説明 】



【 植樹風景 】



【 「フィールドビンゴ」の説明 】